

1. 2014 年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	49,865	104.2	⇒
支出	47,239	98.6	↗
経常収支差額	2,636		↘

評価：利用者実績の大幅な変動、高額物品購入等はありません。3月にだいくかのん一泊旅行を実施



② 職員配置と研修（職員数は2015年1月現在）

正職員 5 名、契約社員 1 名、非常勤パート(固定)5 名、夜勤パート 40 名。今年度契約社員 1 名が正職員となる。非常勤パートの数は変動なし。夜勤者パートは退職者、新規採用者複数名ありで、総数はほぼ変わらず。
研修はシフトの都合により、研修計画通りに参加はできないことが多々あり。外部研修については中堅職員を中心に数回参加してもらう。

③ 事業内容

年度当初に 1 名退居(ひとり暮らし)のあと半年間新規入居者が決まらず収入減となる。今年度より大領利用者 2 名の重度訪問加算の減算により収入減あり。新規入居者への支援、複数名の体験利用者への支援を経て、新任職員を中心に多くの経験を積むことができた。また、新規入居者がすぐに決まらなかったことについては、今後の新規GH立ち上げの際に生かしていかなければいけない。個別支援に計画は部署として意識づけができており、評価できる。企画は前年度に沿った企画を実施することができる。また、他部署との共同企画を2件実施することができ、今後も発展させていきたい。

2. 2015 年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	49,865	⇒	入居者の増減等ないため(だいくかのん、大領合算)
支出	48,446	↗	職員 2 名が 2 年目で賞与通年支給等で人件費増

② 主課題

利用実績を増加させることでの収益増加。
パート増員、育成をすることで将来的に常勤減を図り人件費の削減を目指す。
新規グループホームへの準備。法人としてのGHの特色、あり方等も合わせて考えていく。またその一環として地域住民との交流会を実施する。

③ 年間事業計画（予定）

5月	GW企画	12月	忘年会、クリスマス企画
6月	家族会	1月	防災研修
8月	お盆企画、感染症勉強会	未定	地域の方との交流会
9月	大領外出企画		
10月	だいくかのん一泊旅行		